

## 第五回理事会報告(概略)

### 1. 審査員委嘱員会開催

日時：2022年10月6日（木） 午後5時10分より

開催方法；リモートにより開催

### 2. 出席理事の氏名（順不同、敬称略）

（審査員委嘱委員）

小濱順一、竹田 弘、大坪廣美、笠嶋勝征、一ノ関武士、（欠席:山崎信廣）

### 3. 審議内容

一般公募による願書及び理事より推薦がなされた候補者及び特任審査員依頼の候補者を含め5名の候補者の審査員条件、履歴等に付いて口頭での説明の後、審議話し合いの上全員一致で理事会に答申する事を決議しました。

□ 審査員推薦者名：

神奈川支部/木代正信 埼玉支部/高山克博

（特任候補）千葉支部/富沢積裕 広島支部/坂本正幸 富山支部/長谷川孝幸

尚、下記の審査員規則の解釈を審議する必要があり、委嘱員会で審議し理事会に答申致しました。

- 会員の範囲解釈について  
家族会員の会員が、審査員（特任審査員含む）に推薦される場合、審査員資格条件の「会員とある部分の解釈」として、同居家族（3親等以内）が正会員で、且つ共にクラブに於いて活動している場合は正会員と同等と解釈する。
- 審査員（特任審査員含む）会員年数の解釈について  
家族会員の会員が、審査員（特任審査員含む）に推薦される場合、審査員資格条件の「会員年数」については、同居家族（3親等以内）が正会員で、且つ共にクラブに於いて活動している場合は、家族会員年数をもって会員年数とする。
- 審査員に推薦され本人も承諾した場合は、正会員に変更しなければならない。

以上

## 1. 理事会開催

日時：2022年10月6日（木） 午後6時00分より

理事会開催方法：リモートにより開催

## 2. 出席理事の氏名（順不同、敬称略）

小濱順一、山崎信廣、竹田 弘、大坪廣美、笠嶋勝征、牟田 成、  
長谷川孝幸、村上雅博、一ノ関武士  
以上 9名

### □ 欠席理事の氏名

信貴健二（親族不幸の為）、萩原幸子、渡辺真多 3名

### □ 議決事項に特別の利害関係を有する理事の氏名 無

### □ 議事の経過の要領及び議案別の議決の結果

議長より、本日の理事会について、テレビ会議システムを利用して理事会を開催する旨報告がなされ、テレビ会議システムの環境は十分整っており相互に議論を行うことが確認された。続いて理事総数12名のところ9名の参加により、本日の理事会が定款に定める定足数の過半数を満たし、有効に成立していることを確認した。

## 記

### <審議事項>

#### (ア) 第一号議案：各部署の報告事項

##### ✓ 事業部より、来年度特別展の開催についての説明

2023年度「本部特別展覧会」の開催を2023年4月16日（日）  
浜名湖ガーデンパークで開催の提案がなされ承認された。

特別展事業計画書及び審査員については次回理事会にて説明・決定する。

##### ✓ 会計部長より、決算報告及び郵便振替についての説明

8月末時点で、1,465,000円のマイナスです。会費及び事業収支共に収益が確保できていない状況であり、またファンシーの掲載費用が嵩んでいます。今後の対策として事前に事業計画を立案し検討した上で実行する。また審査員配置、ブロックでの展覧会回数の問題、40頭以下の支部展開催及び審査員派遣の問題も含め引き続き検討する事としました。

（総論、全ての展覧会開催に適用） 40頭未満の展覧会開催については、実出陳頭数との差額を開催支部が負担する事で、次回の展覧会開催を認める事を再

確認しました。合同展の開催については、2019年に施行の実頭数のみの負担金支払を改め、40頭未満の実頭数との差額についても本部負担金を支払うものとする事を決議、承認されました。

- ✓ 自動引き引落についての具体的な詳細等については、次回理事会に提案する事が説明されました。

**(イ) 第二号議案：審査員委嘱委員会の答申を受けての審議**

- ✓ 審査員委嘱委員会より答申がなされ審議の結果全員が承認された。  
「審査員規則の解釈」についても説明され、全員一致で承認されました。

推薦者名：神奈川支部/木代正信 埼玉支部/高山克博

千葉支部/富沢積裕 広島支部/坂本正幸 富山支部/長谷川孝幸

研修に付いては、総務部、事業部に一任されました。

**(ウ) 第三号議案：総会の委任状形式について**

- ✓ 広報部長より、2023年度総会より「委任状」についての説明がなされました。次回総会の委任状について①ハガキによる形式 ②メールによる形式 ③ファックスによる形式の3つの方法を採用する事が説明され、承認されました。

**(その他の報告審議事項) 以下、報告、審議**

□ **トライアル改革の準備室の経過説明、準備室進捗報告がなされた。**

理事長より、第一回会議が開催され、改革の基本的な考え方、方向性等が説明されました。基本方針に沿って着実に改革を進める事で意思統一がなされた事が報告された。(以前のトライアル改革委員会は消滅し準備室となります)

《準備室メンバー》 福島支部/中村武夫、奈良支部/前田明子、  
千葉支部/染谷文雄、栃木支部/青山知代、大阪支部/野村秀子

□ **ボーダー犬参加に向けての説明**

理事長より、ボーダー犬所有者の入会及び出陳については、個々に話を進めている状況であり、条件を踏まえて、早い時期より入会及び出陳を目標として進めています。との報告がなされた。

□ **2022年度実施している「各種キャンペーン」について**

理事長より、2022年度の正会員数、家族会員、新規入会(9/26現)の増減に付いて推移グラフ等の資料が配布され報告されました。例年の自然減少数は約50~140名、数年平均値75名だがキャンペーン効果、コロナ禍に於ける繁殖増加傾向もあり、減少数昨対▲1である。本年度新入会員傾向から昨年比増員に転じる予想との報告がなされた。

限界会員数を達成するためにも、更なる会員増加策及び「各種キャンペーン」の継続が提案され、次回理事会で採決する事になりました。

《別紙》

2022 年度正会員数の推移グラフ・会員（家族会員含む）増減推移グラフを参照ください。

- 総務部長より、先に開催された審査員研修会に不参加者のレポートが提出された事が報告された。
- 展覧会での「ハンドラーのマナー」について  
展覧会でのハンドラーマナーについて会員より意見が多数出されていることが報告、説明がなされました。  
「予備リンクでのトリミング行為」「休憩時間でのリンク内練習」等、ファンシーでの「注意」を行う事が承認された。
- 「毛色の種類、表示」等の取り扱いについて  
標記に付いて会員が十分に理解していないように見受けられる為、再度ファンシーに掲載して理解を深めたいとの意見がなされ、承認されました。
- 展覧会結果掲載について  
ファンシー掲載の組別結果の記録について、席次を記載してほしいとの意見がだされました。システム上可能な場合は対応する事としました。
  - ✓ CCA・ASSA の動画を購入し、審査員、理事、会員に貸し出し知識の向上、海外の展覧会の傾向、犬質の傾向等々、参考になるのではとの意見がなされました。このことについては検討する事としました。
  - ✓ 「ベビークラス」「ベテランクラス」を正式に新設してはとの意見が出されました。この件は、「評議会」でも「会員が楽しめるコンテンツ」に付いての議題として取り扱いされているので、具体的に審議されたら理事会に答申する予定との回答が理事長よりなされた。

議長は、以上で理事会の審議及び話し合いを終了したので  
閉会の旨を述べた。

以上